

掲載された資料について

著者	伊藤 康人
引用	学生と教職員が協働する学内防災. 2020
URL	http://hdl.handle.net/10466/00017211

掲載された資料について

ここに掲載された資料は、大阪府立大学・[地域防災センター](#)が取り組んでいる「学生と教職員が協働する学内での防災減災活動」に関する2020年度の成果を集めたものです。それは、2つのファイルから成ります。学生が自然災害と防災について考える科目として、地域再生副専攻「地域実践演習」があります。その受講生らが、2020年12月18日、府大・中百舌鳥キャンパスのあちこちに指定された一次避難場所から、馬術部の馬場へと歩く模擬訓練を行いました。そこで、馬術部員のサポートの下、自分達で作業スペースを設営し、非常用発電機を起動し、簡易浄水器で飲み水を製造する工程を限られた時間で行えるか…それは、現実の災害に臨んで学生がどこまで安全確保や復旧に貢献できるかのチャレンジです。その模様を「2020レポート」というファイルに纏めて登録しました。

地域実践演習の受講生らが書き留めた作業メモは、馬術部員が作成したマニュアルに直ちに反映され、訓練で戸惑った点を明快に説明するように改善されました。ここに「馬術部作成マニュアル_最終版」として、登録しています。スムーズな災害対応を目指すには未だ考えるべき点がありますし、掲載した資料の完成度についても決して高いとは言えない部分が残っております。しかし、より良いシステムを作っていくための道標として、地道な努力を記録しておきたいと思います。また、新型コロナウイルスの世界的蔓延という未曾有の事態で対面授業が大幅な制限を受ける中、このような学生にとって有意義な活動は、馬術部スタッフの皆さん及び顧問・監督の先生方の深いご理解ご協力があってこそ可能になりました。この場を借りまして、厚く御礼申し上げます

2021年1月21日
地域防災センター
センター長・伊藤康人